

学術情報センター ニュース

第 24 号目次

《トピックス》

- ・新年度にあたって2
- ・森山文部大臣、学術情報センターを視察 3
- ・図書館蔵レコード件数 1,000 万件突破 ...4

《NACSIS サービス案内》

- ・UNIX 版 UIP (XUIP) の提供6
- ・学術情報ネットワークと PC-VAN
 および NIFTY-Serve との
 電子メール交換の実験サービスの開始 9
- ・「学術関係会議等開催情報（日本学術会
 議編）」のサービス開始10
- ・「学協会集会スケジュール（日本工学会編）」
 のサービス開始11
- ・「学術論文データベース第五系（理学）」
 のサービス開始12
- ・データベースシートの発行13
- ・目録所在情報サービス利用の手引第 3 版
 の発行14
- ・接続ニュース14
- ・NACSIS-ILL 利用状況（平成 4 年度）15
- ・NACSIS-IR データベース収納状況 ...16
- ・NACSIS-CAT データベース構築状況 18

《教育・研修》

- ・平成 4 年度情報ネットワーク担当職員
 研修報告19
- ・「平成 5 年度研修事業要綱」を送付20
- ・平成 5 年度情報ネットワーク担当職員
 研修日程20
- ・鹿児島大学の目録システム研修会日程の
 変更20
- ・東京大学共催の NACSIS-IR 講習会
 （地域講習会）の日程決定20

《その他》

- ・学術情報センター電話番号21
- ・人事異動22
- ・学術情報センター刊行物一覧23
- ・課金委員会報告24
- ・海外渡航一覧24
- ・学術情報センター日誌24

新年度に当って

学術情報センター所長

いのせ ひろし
猪瀬 博



学術情報センターは創立以来8年目に入りました。この間全国の大学等の図書館の全面的なご支援を頂き、オンライン接続図書館数は252館、構築された目録所在情報データベースの登録件数は学術雑誌188,000種、学術図書(所蔵)980万件に達しました。また相互貸借(ILL)システムの利用も大幅な伸びをみせ、最近では月間3万件を超えるようになりました。平成4年1月から順調に稼働している新コンピュータシステムは、1テラバイトを超える大容量ファイルをもち、2000台を超える目録端末にサービスを提供する、我が国でも有数

の大規模オンライン・システムであります。

我が国の学術研究情報ネットワークの基幹をなしているのは、当センターが構築運用している学術情報ネットワークであります。これは全国28個所に配置したパケット交換機や、12個所に配置したIPルータ等の設備を、ディジタル通信回線によって相互に接続し、コンピュータ通信、情報検索、図書館や学内LANの接続、電子メールなどのサービスを広く提供しております。さらに我が国のインターネット・バックボーン(SINET)として、光海底ケーブル回線を介して、米国のインターネットにも接続しています。

データベースの構築も学術情報センターの大きな事業です。学協会との協力による学会発表データベース、学会予稿集電子ファイル、学術論文全文データベースなどのほか、文部省の支援によって研究者ディレクトリ、科学研究費補助金研究成果概要データベースなど、多様なデータベースを作成しています。これらに加えて国内外から導入した各種のデータベースにより、情報検索サービスを提供していますが、それらの中には現行法令データベース、維新史料綱要データベースなど、人文社会科学系のものも含まれています。

これらの諸活動の基盤となる研究開発活動も活発に進められています。すなわち各研究部門固有の研究のほか、大規模トランザクション処理、全文データベース検索、電子図書館などのプロジェクト研究や、東アジア地域の国々との協力による多文字種表記システムの開発などの国際共同研究も展開しております。教育・広報活動も当センターのサービスの大きな柱の一つとなっています。総合目録作りの中核となる指導者を養成するための総合目録データベース実務研修、目録業務担当者を対象とする目録システム講習会、ILL業務担当者を対象とするILLシステム講習会、検索業務担当者を対象とするNACSIS-IR講習など、種々の研修の場を全国的に展開し、昨年度は合計992名の方が受講されました。

学術研究の情報への依存性は年とともに高まっており、これを担保するための不可欠なインフラストラクチャとして、学術研究ネットワークは、今や地球規模で一大飛躍を遂げつつあります。中でも顕著なのは米国の動向でありまして、目下HPCC(High Performance Computing and Communication)プロジェクトと呼ぶ壮大な国家計画が進行中です。これはHPCSと称する高性能コンピュータシステム開発、ASTAと称する先導的ソフトウェア及びアルゴリズムの開発、NRENと呼ぶ超高速研究教育用ネットワークの構築、

BRHR と呼ぶ基礎研究及び人材開発、の四つから成っておりまして、1993 年の予算総額は約 8 億ドルと伝えられております。四つの分野のうち、特に当センターと関係の深いのは NREN でありまして、1993 年の予算額は、総額の 15% にあたる、約 1 億 2000 万ドルといわれ、ギガビット／秒の伝送速度をもつ超高速デジタル通信回線を基幹とする全米規模のネットワークの構築を目指しております。インターネットとよばれている現在のネットワークの基幹回線の伝送速度でさえも 45 メガビット／秒でありますから、学術情報センターが運用している SINET のそれと比較すると、一桁以上高速であります。それがさらにギガビット／秒になった暁には、我が国のネットワークは目を覆うほどの貧弱さとなるでしょう。欧州においても EC を中心として類似の動きがあり、日本がこの面での国際的責任をどう果たそうとしているのか、欧米からの注目を集めているのです。またアジア、オセアニア地域の人々からも、国際的なインターネットへの加入に関して、日本がどのような支援を行う用意があるのかを、問われている状況です。

以上の内外諸状況に鑑み、また急速に高度化しつつある我が国の学術研究を支え、その成果を通じて広く国際的貢献を果す上で、米国の NREN に匹敵する学術研究用超高速ネットワークを全国規模で構築するとともに、国際接続を抜本的に強化することは、まさに緊急の課題といわなければなりません。これこそ情報化社会における我が国学術の発展にとって必須のインフラストラクチャーであるからです。

学術情報センターはこのような視点に立って、本年度より文部省科学研究費の創成的基礎研究（新プログラム）の一環として、超高速ネットワーク実現のための研究開発を強力に推進して参ります。それと並行して現在の学術情報ネットワーク（SINET）の伝送速度を、当面は 100 メガビット／秒を目標として可及的速やかに高速化すべく、懸命の努力を傾注する所存です。また大学はもとより、国公立研究機関や、各種法人の基礎研究機関に所属する研究者の方々が、このネットワークを有効に利用して頂くことができるよう、各方面の御理解と御協力をお願いして参ります。読者の皆様におかれましては、引続き一層の御指導、御支援の程をお願い申し上げます。

森山文部大臣、学術情報センターを視察

森山文部大臣は、去る 3 月 8 日午後、約 2 時間にわたって、学術情報センターを視察した。

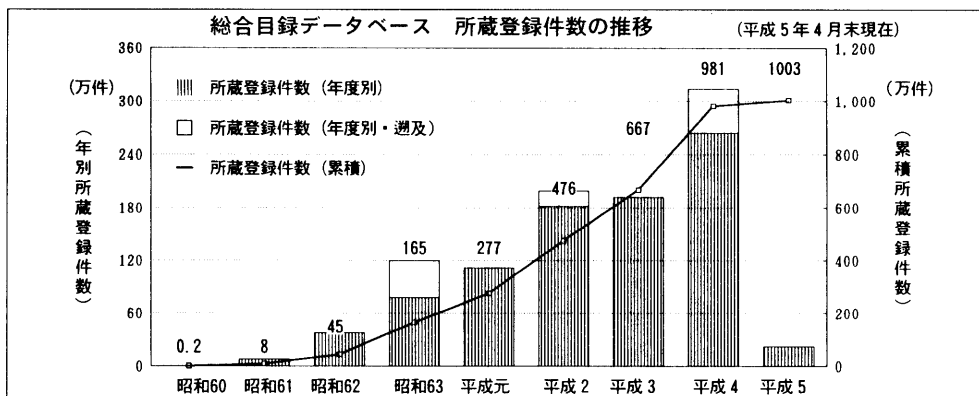
この日、管理棟正面玄関で職員らの出迎えを受けた文部大臣は、所長室において、猪瀬所長、西田副所長、山田研究開発部長らと懇談を行い、センターの現状、概要などについて説明を受けた。

この後、講習会室で情報検索サービス（NACSIS-IR）、目録・所在情報サービス（NACSIS-CAT）などのデモンストレーションを担当課長の説明を受けながら見学し、続いて 1 テラバイトの磁気ディスクなどの周辺装置を有する電子計算機室を視察した。



図書所蔵レコード件数 1,000 万件突破

平成 5 年 4 月 27 日 (火) 13 時 21 分に目録所在情報サービスの図書の所蔵レコード件数が 1,000 万件を突破しました。これは昭和 59 年 12 月に東京工業大学附属図書館が目録システムに接続して運用を開始してから 8 年 5 ヶ月め、昭和 60 年 7 月に第 1 号の所蔵レコードが登録されてから 7 年 9 ヶ月めに当たります。最初の 500 万件は一番目のレコード登録後 5 年 10 ヶ月たった平成 3 年 5 月 22 日に達成されましたが、後半 500 万件は 1 年 11 ヶ月というハイペースで達成されました。1,000 万件前後の入力状況は下表のとおりです。



カウント	入力時刻	所蔵 ID	書誌 ID	参加組織	入 力 館
9,999,996	13:21:00	CD0087168208	BN04691871	FA014064	学習院女子短期大学
9,999,997	13:21:01	CC0053586514	BA19714425	FA007670	同志社大学
9,999,997	13:21:01	CC0053586569	BA01096585	FA002010	一橋大学
9,999,999	13:21:05	CD0087168230	BN08079735	FA007670	同志社大学
9,999,999	13:21:05	CD008716849X	BN00323195	FA003126	鳥取大学
10,000,001	13:21:16	CD008716865X	BN08607946	FA001379	東北大学
10,000,002	13:21:19	CD0087168638	BN08944221	FA007739	立命館大学
10,000,003	13:21:22	CD0087168514	BN06357098	FA006984	フェリス女学院大学
10,000,004	13:21:26	CD0087167894	BN08942791	FA002564	三重大学

このように早期に大量のレコードが登録されたのはひとえに、目録所在情報サービスの意義を汲み取り、積極的に参加していただいた各機関のご協力の賜物です。この場を借りまして改めて各参加機関の皆様にお礼申し上げます。

1,000 万件という数字は通過点にすぎませんが、これを機にこれまでの目録システムの歩みを振り返ってみたいと思います。

1. 揺籃期

学術情報センターがまだ東京大学文献情報センターであった昭和 59 年 12 月に試行バージョンとして運用を始めた目録システムは、その年度内に東京工業大学、大阪大学、名古

屋大学の3大学図書館の協力を得、60年4月には現在とほぼ同等の機能を備えたシステムとして無事に運用を開始することができた。もっとも「無事」とはいつても現在のようにシステムダウンがほとんどないという状態には残念ながら程遠く、また端末側での応答速度も遅い、という状態であった。にもかかわらず、60年度には9大学が接続を果たし、書誌・所蔵レコードも徐々にではあるが登録され始めた。参加機関が10機関程度であったため、この目録システムが目指すところの共同分担目録のメリットはなかなか効果を発揮せず、この時期に入力を担当された方々は登録しようとするもの全て書誌から新規に作成しなければならぬ結果に陥り、さぞやご苦労されたことと推察する。

昭和61年4月に大学共同利用機関「学術情報センター」となり、接続機関に私立大学図書館が参加され始めた頃、総合目録データベースの規模は和洋の図書館所蔵レコードがようやく5,000件になろうか、という程度であった。各参加機関からのデータ入力も主として応答速度などのシステム上の制約があったために伸び悩みの状態であった。中小規模の図書館に負担をかけずに目録システムに参加してもらうための接続手順VTSSを開発・運用したのもこの頃であった。そのためもあり、この年度までに総計30近い参加館を得ることができ、10月から始まった東京大学附属図書館の開架図書入力開始と相まって少しずつ目録システムの実効が表れはじめた。こうしてゆりかごから出ることとなった。

2. 発展期

昭和62年は目録システムにとって非常に重要な年となった。ゆりかごから出て独り立ちし始めた目録システムに強力な後押しがいくつも出現した年であった。一つは北海道大学で始まった計画的な遡及入力の実施であり、一つは東京大学の協力の下で開始された学術情報センターの遡及入力事業であり、さらに目録システムを下で支えるデータベース管理システムの更新であり、そして最も強力なものとなった(と同時に数多くの議論を呼んだ)書誌階層の二階層化・典拠リンクの任意化であった。これらの非常にタイムリーな後ろ楯の下、目録システムは本来の書誌共有効果を発揮し始めた。それは年間10万件の書誌データの登録、年間37万件の所蔵データの登録となって表れた。

その後、昭和63年9月に所蔵レコードが100万件を突破し、「日本における最初の書誌ユーティリティ」を名実共に体现することとなった。この頃から共同作成データベースに多く見られるスケールメリットが顕著となり、「データが多いから利用できる、利用するからデータが増える」という好結果を生むことになる。以後このスケールメリットが新たな参加館を呼ぶこととなり、また学術情報センターで毎年システムの改良を行うことによって利用者からの要望を吸収したこともあり、年間100万件を越える所蔵レコードが登録されるようになり、総合目録データベースは大きく成長することになる。

3. 安定期

所蔵レコードの登録件数も年間200万件を越え、参加機関も年に30機関以上が新規に参加される状況となり、図書館のシステム化にとって学術情報センターの目録システムは欠かすことのできない存在となるまでに成長した。それに伴い平成2年度以降、目録システムのシステム面での開発は比較的小規模なものに終始している。この時期はむしろ数多くの端末(平成5年になってからは800台が常時接続している)が支障なく業務を行えるよ

うに、受け皿の整備を行うことのほうが重要になってきており、そのための対策を慎重に講じてきた。システムの参加機関がさらに増えても十分に対応できる余裕がある。こうした環境の下、平成4年度には過去最高の55機関が新規に参加され、総合目録データベースの形成にご協力いただいている。

以上のように、ここまで目録システムが成長できたのは各参加機関のご努力に負うところ大です。平成4年度から運用を開始したILLシステムの基盤として、さらにローカルシステムのデータ構築の一助として、目録システムがますます利用されることを切に望みます。

UNIX 版 UIP (XUIP) の提供

センターニュース第21号において開発計画などについてご紹介しましたUNIX版UIPは、パイロット・モデルのテスト・評価と提供第1版の動作確認および評価が終了し、いよいよ関連機関への提供の準備が整いました。ここで前回の紹介以後の開発経過および変更点、提供にあたってのセンターの方針について説明を行うことにします。

1. 開発経過および変更点

先にご紹介しましたようにこのUNIX版UIPの開発にあたってはセンター内にワーキンググループを設置し、開発のための仕様検討とパイロット・モデルの評価とを行ってきました。7月にパイロット・モデルの詳細設計を開始し、8月には設計を終了し、10月末にパイロット・モデルの評価を開始するなど、ワーキンググループとして精力的な活動をしてきました。さらに作成されたパイロット・モデルに対して改善要望を行い、平成5年度から提供する予定である第1版の充実を図りました。

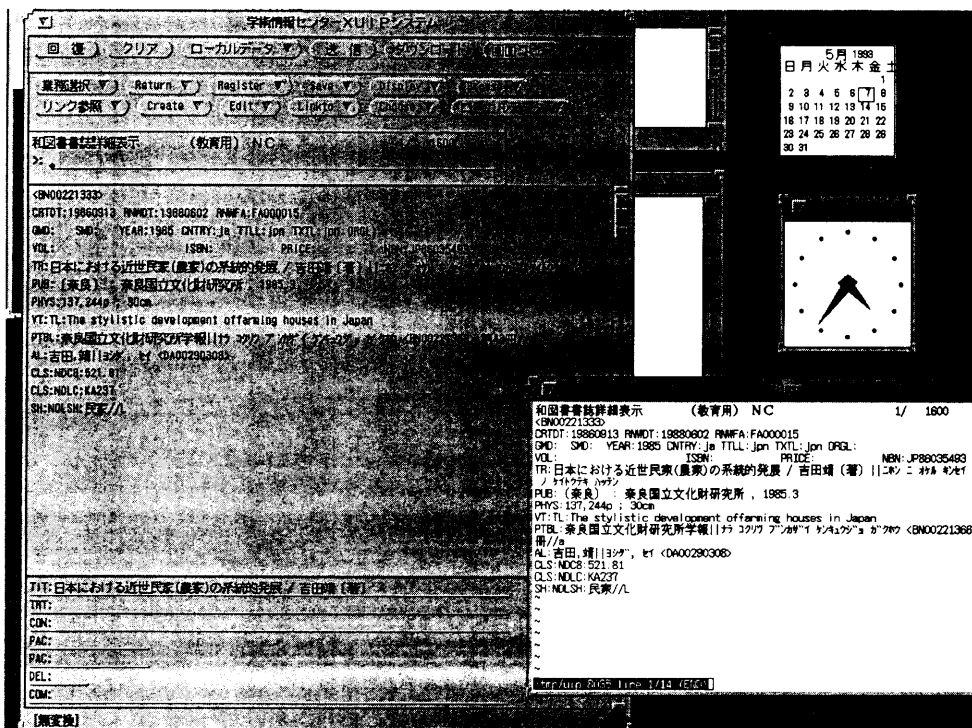
その間、このUNIX版UIPの開発元のシステム技術者にも随時ワーキンググループの会合に参加していただき、開発状況の報告と開発上懸案となっている事項の提起をしていただきました。その上でワーキンググループ内でシステム開発上の技術的な問題点の整理・検討を行いました。

また、平成4年7月から6ヶ月間、筑波大学附属図書館のご協力を得て同図書館部情報システム課の近藤努係員を研修員として迎え、ワーキンググループのメンバーとして活動していただきました。この場を借りて改めてお礼申し上げます。

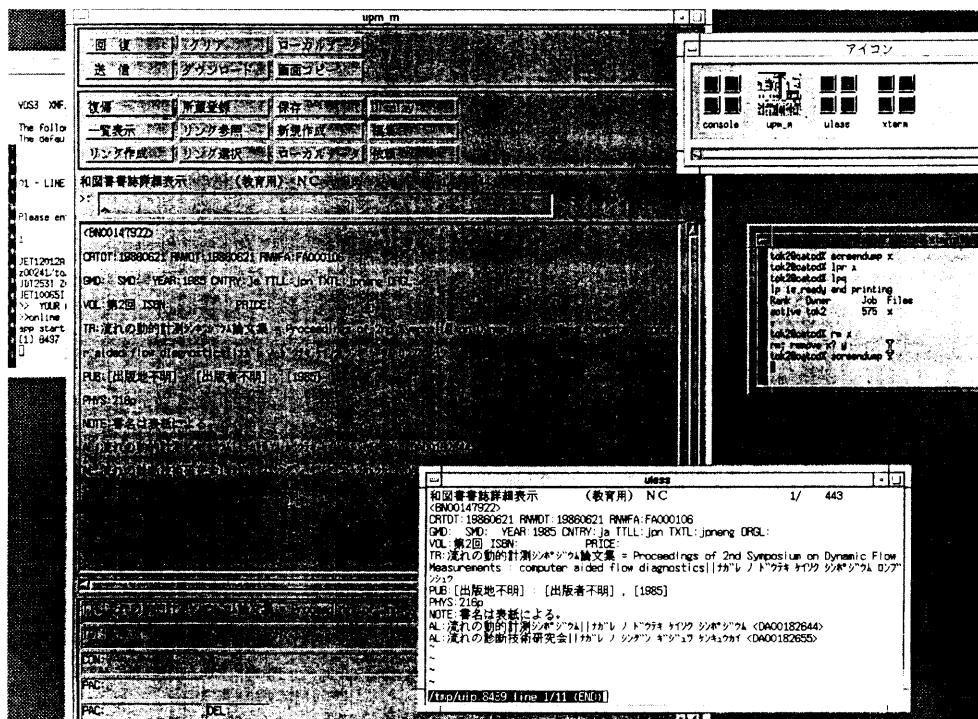
このUNIX版UIPは当初から、代表的なグラフィカル・ユーザー・インターフェース(GUI)である「OPEN LOOK (XView)」と「Motif」の2種類に対応する方針で進んできました。システム開発自体はまず「OPEN LOOK (XView)」対応のものを作成し、これをベースにして「Motif」対応のものを作成する方法を採用しました。

なお、前回ご紹介しました内容のうち、EXC文字のマッピングをG3エリアからG1エリアに変更しました。

ちなみにUNIX版UIPの名称はXUIPとすることとなりました。



OPEN LOOK (Xview) の画面例



Motif の画面例

2. 提供について

この XUIP の提供先は、前回ご紹介しましたように各図書館システム開発メーカーとします。その理由は次の諸点にあります。

- (1) UIP そのものが図書館システム全体の中に組み込まれて利用される性質のものであり、まず図書館システムの開発・保守などを担う図書館システム開発メーカーに提供することが最も適当であると判断したこと。
- (2) メーカーにおいてこの UIP の開発が独自に行われると開発期間がかかり、システムのダウンサイジング化という時代の要請への対応が遅れてしまうこと。
- (3) 図書館のシステム管理担当者にとっても、UNIX によるシステム管理自体はまだ馴染みが薄く、図書館に直接 XUIP を提供した場合でも最終的にはメーカーに導入および保守を依存する可能性が高いこと。
- (4) センターにおいて、XUIP 全体を見通した上での統一的な運用・改善が可能であること。

XUIP の提供にあたりましては、各メーカーに UIP 機能紹介記事、XUIP の基本設計書およびソースコードを提供することを予定しています。提供にあたってはセンターとメーカーとの間で XUIP 使用契約を締結します。その際に各メーカーは XUIP の価格を各自の判断で設定することとなります。センターは各メーカーが定めた価格の一定率を XUIP の著作権使用料に相当する対価として徴収します。

各メーカーから各参加機関に XUIP が提供される場合には無償とはなりませんが、XUIP の開発をセンターが行ったことの意義をご理解いただき、低価格に設定されるものと期待しています。

なお、参加図書館があくまでも自己の責任において導入から保守までを全面的に実行するのであれば、特例として直接図書館へ XUIP などを提供いたします。ただし、この場合センターは援助は一切行いません。

3. 今後の運用について

XUIP の運用上の諸問題を検討するために、センターと各メーカーとで連絡協議会（仮称）の設置を予定しています。当面の作業としては、① XUIP そのもののバグが発見された場合の対応、②利用者から改善要望が提出された場合の対応、などを考えています。

これらの点を含め提供方法について、各図書館システム開発メーカーには平成 5 年 5 月 26 日（水）14：00 から XUIP 提供説明会を実施しました。

（目録情報課）

学術情報ネットワークと PC-VAN および NIFTY-Serve との電子メール交換の実験サービスの開始

1. はじめに

学内 LAN の急速な普及により、研究者は、自分の研究室などから手軽に研究情報の入手が可能になってきています。これらの学内 LAN 相互の接続を高速に実現するため、学術情報センターでは、平成 4 年 4 月からインターネット・バックボーン (SINET) の運用を開始しました。

一方、パソコンや通信機能を備えたワープロも急速な普及がなされ、今では、これらを研究者が自宅に設置し、パソコン通信を利用した各種情報の交換を行う利用形態も急増してきています。

こうした状況から、インターネットを利用している研究者からパソコン通信に参加している研究者との間で情報交換を可能にしてほしいとの要望が多数寄せられていることから、平成 5 年 5 月 17 日より学術研究機関の研究者などを対象に、インターネットと PC-VAN および NIFTY-Serve との間において、当面、電子メールの交換を可能とするための実験サービスを開始しました。以下にその利用に関する遵守事項とメールアドレスの指定について説明いたします。

2. 利用に当たって

パソコン通信との電子メール交換の実験サービスを利用する上で、次のことを遵守してください。

- ・学術研究および学術研究支援のための管理業務以外の目的に利用しないこと。
- ・営利を目的とした利用を行わないこと。
- ・通信の秘密を侵害しないこと。
- ・実験サービスの運用に支障を及ぼす利用を行わないこと。
- ・実験サービスにより生じた損害に関して、学術情報センター、PC-VAN および NIFTY-Serve ともいかなる責任は負わないことを了解した上で利用すること。
- ・その他、利用に当たっては、「学術情報ネットワークの加入に関する暫定措置を定める規則」、PC-VAN および NIFTY-Serve の「会員規則」を遵守すること。

3. メールアドレスの指定

インターネットから PC-VAN および NIFTY-Serve へのメールアドレスの記述は下記のとおります。

PC-VAN の利用者向け

XXXXXXXX@pcvan.or.jp

NIFTY-Serve の利用者向け

XXXXXXXX@niftyserve.or.jp

注) XXXXXXXX はそれぞれの利用者番号を記述します。

(ネットワーク係)

「学術関係会議等開催情報（日本学術会議編）」のサービス開始

日本学術会議に登録している学協会などが関係している国際会議などの開催予定情報を収録した「学術関係会議等開催情報（日本学術会議編）」のサービスを行うことになりましたので、その概要などをお知らせします。

1. 概 要

(1) 収録対象

日本学術会議に登録または広報協力している約 1,000 団体(登録学術団体約 900, 広報協力団体約 150) の会議および国際会議の開催予定情報

(2) 収録範囲, 収録件数

1991 年以降のデータを収録, サービス開始時点の件数は約 7,000 件
年間増加件数は約 3,500 件

(3) 収録データ項目

会議名, 主催団体名, 開始時期, 開催場所, 連絡先など

(4) そ の 他

本データベースは, 本センターの電子掲示板サービス (BBS) で使用中のデータをもとに日本学術会議の協力を得て, サービスを行うものです。

2. サービス開始時期

平成 5 年 6 月を目処に準備を進めています。データベースの内容および利用方法などについては, サービス開始時に発行予定の「NACSIS-IR データベースシート (学術関係会議等開催情報 (日本学術会議編))」をご覧ください。

具体的日程が決まり次第, 利用方法などについてオンラインニュースなどでお知らせします。

3. 利用料金

データベースを呼び出す都度 … 30 円/回

なお, 利用に係る経費は, 各データベースの利用額の月ごとの合計額にその 3 % を加算した額となります。

(データベース課)

「学協会集会スケジュール（日本工学会編）」のサービス開始

日本工学会所属の学協会が関係している大会・研究会などのスケジュール情報を収録した「学協会集会スケジュール（日本工学会編）」のサービスを行うことになりましたので、その概要などをお知らせします。

1. 概 要

(1) 収録対象

日本工学会会員学協会である 78 学協会が開催している大会・研究会などのスケジュール情報

(2) 収録範囲，収録件数

1991 年以降のデータを収録，サービス開始時点の件数は約 450 件
年間増加件数は約 650 件

(3) 収録データ項目

会議名，主催団体名，会議日付，開催地，共催団体名，連絡先など

(4) その他

本データベースは，日本工学会が作成したデータベースを同会の協力を得て，サービスを行うものです。

2. サービス開始時期

平成 5 年 6 月を目処に準備を進めています。データベースの内容および利用方法などについては，サービス開始時に発行予定の「NACSIS-IR データベースシート（学協会集会スケジュール（日本工学会編）」をご覧ください。

具体的日程が決まり次第，利用方法などについてオンラインニュースなどでお知らせします。

3. 利用料金

データベースを呼び出す都度 … 30 円／回

なお，利用に係る経費は，各データベースの利用額の月ごとの合計額にその 3 % を加算した額となります。

（データベース課）

「学術論文データベース第五系（理学）」のサービス開始

理学分野の学術論文の全文を収録した「学術論文データベース第五系（理学）」のサービスを平成5年7月から開始します。

1. 概 要

(1) 収録対象

理学分野の学協会のうち、応用物理学欧文誌刊行会の論文を収録しています。

(2) 収録範囲、収録件数

以下の雑誌に掲載された学術論文を収録しています。

- Japanese Journal of Applied Physics. Part 1, Regular Papers & Short Notes
(収録は Vol.31, No.1 (1992) 以降)

- Japanese Journal of Applied Physics. Part 2, Letters
(収録は Vol.31, No.1 (1992) 以降)

サービス開始時のデータ件数は約 1,500 件です。データベースの更新は年数回を予定しており、年間増加件数は約 1,500 件です。

(3) その他

収録データ項目、データベースの検索方法などは現在サービス中の学術論文データベース第一系（電子）、第二系（化学）と同じです。

2. 利用方法

データベース呼び出しコマンドは「PAPER 5」です。内容および利用方法については、「NACSIS-IR データベースシート（学術論文データベース）」をご覧ください。データベースシートをご希望の方は、①送付先の郵便番号、住所、②氏名、③利用者番号、④希望するデータベースシート名を明記の上、共同利用第一係まで FAX (03-3942-6797) でお申し込みください。

3. 利用料金

データベースに接続している時間 … 50 円／分

内容を端末に表示した件数 … 13 円／件

(出力モード W, X, Y の場合を除く)

ファクシミリ出力をした枚数 … 34 円／枚

なお、利用に係る経費は、合計額にその 3 % を加算した額になります。

(データベース課)

データベースシートの発行

NACSIS-IR の参考資料として、現在次のデータベースシートを発行しています。

シートNO	略 称	デ ー タ ベ ース シ ー ト 名
0 0 1	利用	データベースシートの利用にあたって
1 0 1	Life	Life Sciences Collection PLUS Marine Biology and BioEngineering
1 0 2	MATH	MATHSci
1 0 3	COMP	COMPENDEX PLUS
1 0 4	HBR	Harvard Business Review
1 0 5	ISTP	ISTP & B
1 0 6	EMB	EMBASE
1 0 7	Sci	SciSearch
1 0 8	SSci	Social SciSearch
1 0 9	A & H	A & H Search
1 1 0	雑誌記事	雑誌記事索引データベース
2 0 1	科学研究	科学研究費補助金研究成果概要データベース
2 0 2	学位論文	学位論文索引データベース
2 0 3	学会発表	学会発表データベース
2 0 4	学術論文	学術論文データベース
2 0 5	研究者	研究者ディレクトリ
2 0 6	現行法令	現行法令データベース
2 0 7	海外研究	海外研究プロジェクトデータベース
2 0 8	経済学	経済学文献索引データベース
2 1 0	民間助成	民間助成研究成果概要データベース
2 1 1	学会予稿	学会予稿集電子ファイル
3 0 1	JPM	JPMARC
3 0 2	LCMB	LCMARC (Books)
3 0 3	LCMS	LCMARC (Serials)
3 0 4	目録図書	目録所在情報データベース (図書)
3 0 5	目録雑誌	目録所在情報データベース (雑誌)
3 0 6	アメリカ	アメリカン・センター図書館総合目録データベース
4 0 1	DBDR	データベースディレクトリ
4 0 2	維新史料	維新史料綱要データベース
4 0 3	欧文会議	国会図書館科学技術欧文会議録データベース
4 0 4	家政学	家政学文献索引データベース
4 0 5	木簡	木簡データベース
4 0 6	RAM	RAMBIOS
4 0 7	化学セ	化学センサーデータベース
4 0 8	会議 1	学術関係会議等開催情報 (日本学術会議編)

ご希望の方は、①送付先の郵便番号、住所、②氏名、③利用者番号、④希望するデータベース名または略称を明記の上、共同利用第一係までFAX (03-3942-6797) でお申し込みください。

(共同利用第一係)

目録所在情報サービス利用の手引（第3版）の発行

「目録所在情報サービス利用の手引（第3版）」は、目録所在情報サービスの概要、学術情報センターとの接続方法、利用するための諸申請手続きなどを説明したものです。

今回の第3版は、従来の学術情報ネットワーク（パケット網）およびDDX-Pに加えSINET(インターネット)、DDX-TP、INS-Pなどの新しい接続方法を掲載し内容を一新しました。

当センターに接続し利用している図書館等にはお送りしておりますが、これから目録所在情報サービスを利用される図書館等でご希望の場合は、①送付先機関の郵便番号、住所、②機関名、③担当者を記載するとともに、「目録利用の手引（第3版）」と明記の上、共同利用第一係までFAX（03-3942-6797）でお申し込みください。

なお、前回のセンターニュース（No.23）でご案内した「目録所在情報サービス利用説明会」の参加申し込みFAX番号を03-3942-6797 共同利用第一係宛に変更しましたので併せてお知らせします。

（共同利用第一係）

接 続 ニ ュ ー ス

前号以降、新たに目録所在情報サービスの参加機関となった図書館は、以下のとおりです。

（平成5年5月末現在）

No.	機 関 名	接続日	No.	機 関 名	接続日
240	横 浜 市 立 大 学	5. 2. 1	249	福 岡 女 子 大 学	5. 3. 18
241	龍 谷 大 学	5. 2. 3	250	筑 波 技 術 短 期 大 学	5. 3. 18
242	佛 教 大 学	5. 2. 4	251	横 浜 商 科 大 学	5. 3. 22
243	長岡工業高等専門学校	5. 2. 12	252	聖 学 院 大 学	5. 3. 23
244	農林水産研究情報センター	5. 3. 1	253	東 北 芸 術 工 科 大 学	5. 4. 6
245	純 心 女 子 短 期 大 学	5. 3. 2	254	九 州 歯 科 大 学	5. 4. 16
246	国立精神・神経センター	5. 3. 12	255	朝 日 大 学	5. 4. 21
247	英 知 大 学	5. 3. 15	256	石 川 県 農 業 短 期 大 学	5. 5. 17
258	亜 細 亜 大 学	5. 3. 17			

この結果、参加機関数は、国立大学 96、公立大学 17、私立大学 113、共同利用機関 11、短期大学 7、高等専門学校 3、その他 9、合計 256 機関となりました。

（共同利用第一係）

NACSIS-ILL 利用状況（平成4年度）

平成4年4月からサービス開始したILLシステムの1年間の利用状況は以下の通り。

1. 利用機関

	国立大学	公立大学	私立大学	その他	計
機関数	93	3	44	14	154
参加組織数	204	3	51	14	272

2. 月別レコード件数

年 月	複 写	貸 借	計
1992年 4 月	12,777	89	12,866
5 月	18,020	520	18,540
6 月	22,984	829	23,813
7 月	23,085	938	24,023
8 月	16,527	783	17,310
9 月	24,931	848	25,779
10月	27,211	1,062	28,273
11月	24,462	1,097	25,559
12月	21,911	1,063	22,974
1993年 1 月	19,649	825	20,474
2 月	23,260	893	24,153
3 月	24,055	937	24,992
年間合計	258,872	9,884	268,756

3. 図書館種別間の流動（終了状態のレコード件数）

上段：複写件数 中段：貸借件数 下段：合計

受付館 依頼館	国立大学	公立大学	私立大学	その他	合 計
国立大学	237,838	129	4,715	799	243,481
	8,598	0	480	19	9,097
	246,436	129	5,195	818	252,578
公立大学	519	1	177	3	700
	13	0	0	0	13
	532	1	177	3	713
私立大学	6,077	55	5,437	59	11,628
	501	0	209	4	714
	6,578	55	5,646	63	12,342
その他	2,684	50	324	5	3,063
	52	0	7	1	60
	2,736	50	331	6	3,123
合 計	247,118	235	10,653	866	258,872
	9,164	0	696	24	9,884
	256,282	235	11,349	890	268,756

（専門・電子情報係）

NACSIS-IR データベース収納状況

平成5年4月23日現在

No.	データベース名称	収納件数	収録期間
1	科学研究費補助金研究成果データベース	93,446	昭和60年度～
2	学位論文索引データベース	57,376	昭和59年度～
3	学会発表データベース	125,513	昭和62年3月～
4	学術論文データベース第一系 (全文) (電子関連) (抄録)	928 2,471	平成元年度～
5	学術論文データベース第二系 (化学関連)	8,881	昭和58年1月～
6	海外研究プロジェクトデータベース	80,972	平成4年1月末現在
7	民間助成研究成果概要データベース	961	昭和46年度～
8	経済学文献索引データベース	90,600	昭和58年4月～
9	学会予稿集電子ファイル	43,497	1969年4月～
10	雑誌記事索引データベース	936,845	1984年1月～
11	現行法令データベース	3,646	平成4年7月末現在
12	維新史料綱要データベース	23,089	
13	木簡データベース	14,574	
14	研究者ディレクトリ	130,109	昭和63年5月現在
15	データベース・ディレクトリ	1,327	平成4年4月現在
16	家政学文献索引データベース	19,751	1979年4月～
17	RAMBIOS	5,382	1983年4月～
18	Life Sciences Collection	1,135,011	1982年1月～
19	MathSci	1,303,871	1973年1月～
20	COMPENDEX PLUS	2,527,318	1976年1月～

No	データベース名称	収納件数	収録期間
21	Harvard Business Review	2,624	1927 年 1 月～
22	ISTP & B	1,966,319	1982 年 1 月～
23	EMBASE	2,685,812	1984 年 4 月～
24	SciSearch	4,303,381	1987 年 4 月～
25	Social SciSearch	746,958	1987 年 4 月～
26	A & H Search	684,876	1987 年 4 月～
27	目録所在情報データベース (和図書)	727,683 5,951,619	
28	目録所在情報データベース (洋図書)	1,725,161 3,997,141	
29	目録所在情報データベース (和雑誌)	73,542 1,521,431	
30	目録所在情報データベース (洋雑誌)	113,613 943,631	
31	科学技術関係欧文会議録データベース	32,641	昭和 60 年 4 月～
32	アメリカン・センター図書館総合目録 データベース	6,451	平成 4 年 6 月末現在
33	JPMARC	1,323,854	1956 年 1 月～
34	LCMARC (Books)	3,415,001	1973 年 1 月～
35	LCMARC (Serials)	570,392	1973 年 1 月～

(注) No27～30 のデータベースの上段は書誌件数、下段は所蔵件数。

(システム業務係)

NACSIS-CAT データベース構築状況

平成 5 年 4 月 23 日現在

データベース名称			収納件数	備考 (収録期間等)
総合目録データベース	和 図 書	書 誌	728,316	
		所 蔵	5,981,585	
	洋 図 書	書 誌	1,005,641	
		書 誌 (遡 及)	720,296	
		所 蔵	4,000,360	
	和 雑 誌	書 誌	73,669	
		所 蔵	1,524,687	
	洋 雑 誌	書 誌	115,131	
		所 蔵	962,703	
	著 者 名 典 拠		627,734	
	統 一 書 名 典 拠		2,756	
参 照 フ ァ イ ル	和 雑 誌 変 遷 マ ッ プ		8,646	
	洋 雑 誌 変 遷 マ ッ プ		13,853	
	LC / MARC	洋 図 書 書 誌	4,103,336	1968 年 1 月～1992 年 12 月
		洋 雑 誌 書 誌	570,392	1973 年 1 月～1993 年 3 月
		非 文 字 書 誌	150,129	1973 年 1 月～1991 年 3 月
		洋書著者名典拠	2,520,804	1977 年 1 月～1993 年 4 月
		洋書統一書名典拠	135,178	1977 年 1 月～1993 年 4 月
	JP / MARC	和 図 書 書 誌	1,329,332	1969 年 1 月～1993 年 4 月
		和 雑 誌 書 誌	87,286	1968 年 8 月～1992 年 2 月
		和書著者名典拠	317,421	
	UK / MARC	洋 図 書 書 誌	1,310,484	1950 年 1 月～1993 年 4 月
	TRC / MARC	和 図 書 書 誌	311,826	1985 年 4 月～1993 年 4 月
	GPO / MARC	洋 図 書 書 誌	309,604	1976 年 1 月～1991 年 5 月

(システム業務係)

平成4年度情報ネットワーク担当職員研修報告

平成4年度から文部省と共催で新規事業として始まった情報ネットワーク担当職員研修は、第1回を2月23日(火)～26日(金)、第2回は3月9日(火)～12日(金)の各々4日間の日程で、学術情報センターおよび文部省他を会場として実施しました。各回とも定員12名のところに、第1回には70名、第2回には84名の受講申し込みがあり、各大学、図書館、研究機関内でネットワーク化が進むなかで、この研修への期待が大きいことが分かりました。

今回の研修では、学術情報センター相澤助手からTCP/IPの概要についての講義、宇宙科学研究所松方助教授からインターネットについての講義、豊橋技術科学大学中山助手からアプリケーションについての講義などを中心に、ワークステーションを用いての実習や施設見学を行いました。



相澤講師の講義を熱心に聞く研修生

於：学術情報センター



長谷川学術情報課長から修了証書を授与される研修生

於：文部省

今回、会場などの都合で参加いただけなかった申し込み機関をはじめ、関係機関等から次年度以降の開催の希望が多数あり、今後一層充実していく予定です。

「平成5年度研修事業要綱」を送付

本センターが実施する平成5年度の研修事業の要項をまとめた「研修事業要綱」を、去る4月1日に、各大学・大学附属図書館および研究機関等に送付しました。

この「研修事業要綱」には、目録システム講習会、総合目録データベース実務研修会、ILLシステム講習会、NACSIS-IR講習会、電子メールシステム講習会の各々の実施要項、カリキュラム、地域講習会の日程と併せて申込書（推薦調書）を冊子としました。追加の部数をご希望の場合には、研修係へお申し込みください。

平成5年度情報ネットワーク担当職員研修日程

今年度の情報ネットワーク担当職員研修は、文部省の共催のもとに第1回を平成5年7月12日（月）～7月15日（木）、第2回は9月7日（火）～9月10日（金）の各々4日間の日程で、学術情報センター他を会場として開催します。

昨年度の実績を踏まえて、定員を30名程度とし、実習の時間を増やすなどの改善をしています。実施要項ならびに申込書（推薦調書）は、すでに文部省から各大学、研究機関等に送付されていますが、実施内容や申し込みなどについては、研修係へお問い合わせください。

鹿児島大学の目録システム研修会日程の変更

平成5年度目録システム講習会（地域講習会）のうち鹿児島大学附属図書館と共催で開催予定の講習会は、同大学図書館の改修工事のため、11月15日（月）～19日（金）に変更となりました。申し込み締切りは10月14日（金）となっています。ご不明の点については研修係へお問い合わせください。

東京大学共催のNACSIS-IR講習会（地域講習会）の日程決定

センタニュースNo23掲載の平成5年度研修事業計画の中で、東京大学で開催する予定のNACSIS-IR講習会（地域講習会）は実施日程が調整中でしたが、平成6年3月8日（火）～3月9日（水）に開催することとなりました。

申し込み締切りは平成6年2月4日（金）となっています。ご不明の点については研修係へお問い合わせください。

（研修係）

学術情報センター電話番号

※学術情報センターはダイヤルイン
となっております。

電話番号は下表のとおりです。

ファックス (03) 3942-6900 (総務課)
ファックス (03) 3814-4931 (会計課)
ファックス (03) 3942-6797 (共同利用課)
ファックス (03) 3942-9398 (事業部)
ファックス (03) 3944-7131 (目録情報課)
ファックス (03) 5395-7064 (研究開発部)

所 長	(03) 3942-6901	データベース管理係	(03) 3942-6973
副 所 長	(03) 3942-6902	〃	(03) 3942-6974
秘 書 室	(03) 3942-6919	文献データベース係	(03) 3942-6975
〃	(03) 3942-6920	〃	(03) 3942-6976
管 理 部 長	(03) 3942-6903	全文データベース係	(03) 3942-6977
総 務 課 長	(03) 3942-6911	〃	(03) 3942-6978
総 務 課 課 長 補 佐	(03) 3942-6912	数値・画像データベース係	(03) 3942-6979
庶 務 係	(03) 3942-6913	〃	(03) 3942-6980
〃	(03) 3942-6914	調 査 係	(03) 3942-6989
人 事 係	(03) 3942-6915	目 録 情 報 課 長	(03) 3942-6981
〃	(03) 3942-6916	目録情報課課長補佐	(03) 3942-6982
国 際 交 流 係	(03) 3942-6917	図 書 目 録 情 報 係	(03) 3942-6983
〃	(03) 3942-6918	〃	(03) 3942-6984
国 際 研 究 協 力 係	(03) 3942-6909	雑 誌 目 録 情 報 係	(03) 3942-6985
会 計 課 長	(03) 3942-6921	〃	(03) 3942-6986
会 計 課 課 長 補 佐	(03) 3942-6922	専 門 ・ 電 子 情 報 係	(03) 3942-6987
総 務 係	(03) 3942-6923	〃	(03) 3942-6988
〃	(03) 3942-6924	研 究 開 発 部 秘 書 室	(03) 3942-6956
経 理 係	(03) 3942-6925	〃	(03) 3942-6957
〃	(03) 3942-6926	山 田 研 究 開 発 部 長 室	(03) 3942-6904
用 度 係	(03) 3942-6927	井 上 研 究 主 幹 室	(03) 3942-6954
〃	(03) 3942-6928	濱 田 研 究 主 幹 室	(03) 3942-6952
施 設 ・ 管 財 係	(03) 3942-6929	内 藤 教 授 室	(03) 3942-6958
〃	(03) 3942-6930	根 岸 教 授 室	(03) 3942-6953
共 同 利 用 課 長	(03) 3942-6931	浅 野 教 授 室	(03) 3942-6951
共同利用課課長補佐	(03) 3942-6932	宮 澤 教 授 室	(03) 3942-6955
研 修 専 門 員	(03) 3942-6939	小 野 教 授 室	(03) 3942-6964
共 同 利 用 第 一 係	(03) 3942-6933	大 山 助 教 授 室	(03) 3942-6950
共 同 利 用 第 二 係	(03) 3942-6934	小 山 助 教 授 室	(03) 3942-6961
研 修 係	(03) 3942-6935	安 達 助 教 授 室	(03) 3942-6959
〃	(03) 3942-6936	橋 爪 助 教 授 室	(03) 3942-6960
情 報 ・ 資 料 係	(03) 3942-6937	飯 田 助 教 授 室	(03) 3942-6962
〃	(03) 3942-6938	桂 助 手	(03) 3942-6969
事 業 部 長	(03) 3942-6905	影 浦 助 手	(03) 3942-6968
シ ス テ ム 管 理 課 長	(03) 3942-6941	高 須 助 手	(03) 3942-6967
システム管理課課長補佐	(03) 3942-6942	計 助 手	(03) 3942-6996
国 際 情 報 専 門 員	(03) 3942-6949	金 助 手	(03) 3942-6990
シ ス テ ム 管 理 係	(03) 3942-6943	相 澤 助 手	(03) 3942-6994
〃	(03) 3942-6944	伊 藤 助 手	(03) 3942-6992
シ ス テ ム 業 務 係	(03) 3942-6945	佐 藤 助 手	(03) 3942-6966
〃	(03) 3942-6946	孫 助 手	(03) 3942-6991
ネ ッ ト ワ ー ク 係	(03) 3942-6947	趙 助 手	(03) 3942-6993
〃	(03) 3942-6948	山 田 研 究 室	(03) 3945-3792
国 際 事 業 係	(03) 3942-6907	濱 田 研 究 室	(03) 3944-7504
国 際 企 画 係	(03) 3942-6908	浅 野 研 究 室	(03) 3944-7574
デ ー タ ベ ー ス 課 長	(03) 3942-6971	安 達 研 究 室	(03) 3942-6995
データベース課課長補佐	(03) 3942-6972		

人 事 異 動

発令年月日 (採用)	氏 名	官 職 名	旧 官 職 名
5. 4. 1	藤本 康宏	事業部システム管理課	
	小野 欽司	研究開発部システム研究系教授	
	趙 偉平	研究開発部システム研究系助手	
(転入)			
5. 4. 1	三浦 良雄	管理部長	千葉大学庶務部長
	上田 敏次	事業部長	学術振興会総務部庶務課長
	石橋 栄	管理部共同利用課長	東京大学医学部附属病院管理課長
	藤川 俊三	事業部データベース課長	香川医科大学教務部図書課長
	田中 恵庫	管理部会計課課長補佐	東京大学物性研究所経理課会計主任
	伊藤 嘉朗	管理部総務課庶務係長	東京大学庶務部人事課総務掛主任
	渡部 邦夫	管理部会計課経理係長	東京大学医科学研究所管理課 医事掛長
	若宮 広和	管理部共同利用課研修係長	国立科学博物館普及部普及課 普及事業係長
	鈴木 新一	事業部システム管理課 ネットワーク係長	東北大学大型計算機センター ネットワーク掛長
	木村 優	事業部データベース課 全文データベース係長	九州大学附属図書館情報システム課 システム運用掛長
	石原 栄一	事業部データベース課 調査係調査主任	国文学研究資料館会計課 情報処理係情報処理主任
	北條 充敏	事業部目録情報課	香川医科大学教務部図書課
(所内異動)			
5. 4. 1	阿保 博康	管理部会計課用度係長	管理部会計課経理係長
	中田 多美	管理部総務課国際交流係長	事業部システム管理課
	羽田 和久	管理部共同利用課 共同利用第一係長	管理部共同利用課共同利用係長
	櫻井美智雄	管理部共同利用課 共同利用第二係長	管理部共同利用課
	郡司 久	事業部システム管理課 システム管理係長	事業部システム管理課 ネットワーク係長
	志津田嘉康	事業部データベース課 データベース管理係長	事業部データベース課 全文データベース係長
	早川 英岐	管理部共同利用課	管理部会計課
	樋口 秀樹	事業部データベース課	事業部システム管理課
(転 出)			
5. 4. 1	奥田 昭夫	福島大学事務局長	管理部長
	坂 直史	秋田大学庶務部庶務課長	管理部共同利用課長

山之内恵一	京都大学附属図書館総務課長	事業部データベース課長
田中 義國	東京大学医学部附属病院管理課 課長補佐	管理部会計課課長補佐
新屋 克明	東京大学教養学部数理科学 研究科総務課人事掛長	管理部総務課庶務係長
国分 和雄	東京大学生産技術研究所経理課 用度掛長	管理部会計課用度係長
滝田 統一	東京大学法学部研究室総務掛長	管理部共同利用課研修係長
大西 直樹	大阪大学附属図書館情報管理課 システム管理掛長	事業部データベース課 データベース管理係長

(職務命令)

5. 4. 1	中田 多美	事業部システム管理課 国際事業室国際企画係長兼務	
	郷原 正好	事業部システム管理課ネット ワーク係ネットワーク主任	事業部システム管理課

(退 職)

出向先

5. 3. 31	雨森 弘行	三重県立図書館長	事業部長
	(併任解除)	併任解除官職名	官職名
5. 4. 1	二宮 徹平	管理部総務課国際交流係長	管理部総務課人事係長

学術情報センター刊行物一覧

誌 名 お よ び 発 行 頻 度	発 行 日
センターの総括的出版物	
学術情報センター要覧 和文版	年 1 回発刊 5 月～6 月
学術情報センター要覧 英文版	年 1 回発刊 8 月～9 月
学術情報センター年報 平成 3 年度	'92. 6. 1
学術情報センターニュース 最新刊 23 号	季刊 '92. 3. 16
NACSIS newsletter 最新刊 No. 7	年 2 回発刊 '92. 12
研究報告	
学術情報センター紀要 第 5 号	'92. 12. 25
平成 4 年度 学術情報データベース実態調査報告書	'92. 11. 27
講習会テキスト等	
目録システム講習会テキスト 1992 年 4 月改訂	'92. 4
オンライン・システムニュースレター 最新刊 No. 38	'93. 3. 26
個別サービスに関する広報	
電子メールシステム利用者マニュアル 第 3 版	'92. 6. 1
学術情報センター ILL システム操作マニュアル 改定版	'93. 3. 31
NACSIS-IR データベースシート	

課金委員会報告

平成4年度第1回課金委員会が平成5年3月8日(月)に開催された。

まず、①学術情報センターの事業の概要について、②平成4年度中にサービスを開始したデータベースの概要について、③科学技術に関する行政監察結果に基づく勧告について報告があった。

引き続き、新規サービス予定データベースの利用料金について協議し、①臨床症例データベース、②学術論文データベース第5系(理学)については「接続料50円/分、ヒット料13円/件、ファクシミリ出力34円/枚」とし、③化学センサーデータベース(仮称)、④日本独文学会文献情報データベース(仮称)、⑤スラブ地域文献情報データベース(仮称)、⑥電気化学データベース(仮称)については「接続料30円/回」の料金とすることで了承された。さらに、情報検索サービスの利用対象の拡大についても協議し、対象者の範囲、利用料金等についてさらに検討することとなった。

海外渡航一覧

2.25～3.7	根岸教授、安達助教授(米国)	4.1～9.27	金助手(英国)
3.5～3.14	井上研究主幹(米国)	4.30～5.11	影浦助手(英国)
3.7～3.14	金助手(韓国)	5.2～5.22	内藤教授(タイ、独国、ベルギー、英国)
3.12～3.21	孫助手(米国)	5.8～5.17	宮澤教授(独国)
3.13～3.21	浅野教授(仏国)	5.11～5.15	山田研究開発部長(香港)
3.13～3.20	影浦助手(英国)	5.11～5.22	中田国際交流係長、古田同係員(独国、ベルギー、英国)
3.16～3.22	井上研究主幹(米国)		
3.16～3.24	橋爪助教授(米国)		
3.23～3.31	相澤助手(米国)	5.31～6.5	井上研究主幹(韓国)

学術情報センター日誌

[平成5年2月6日～平成5年5月28日]

- 2.9 アルゼンチン他9ヵ国からなる国際協力事業団の研修生(11名)来訪
- 2.10 英国 University of Sheffield, Peter Stubley 氏他1名来訪
- 3.17 米国 Library of Congress Network Development and MARC Standards Office, Sally H. McCallum 氏来訪
- 3.23 タイ国 Dept. of Library & Information Science, Faculty of Humanities & Social Science, Khon Kaen University, Lampang Manmart 氏他1名来訪
- 3.25 タイ国 Chiang Mai University, Suchada Chotikanont 氏他1名来訪
- 4.16 米国 University of California, San Diego, International Relation and Pacific Studies Library, Karl Lo 氏来訪
- 4.22 英国 Macmillan Ltd, Michael Barnard 氏他25名来訪
- 5.24 目録システム講習会 ～5.28

学術情報センターニュース(第24号)

1993年6月18日発行

発行人 猪瀬 博

発行 学術情報センター 東京都文京区大塚3丁目29番地1号(〒112)

電話 (03)3942-6937(直通) 情報・資料係